

第 9 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 3 年 7 月 29 日 (木) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分まで		
開催場所	茅野市役所 8 階大会議室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	6 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容 (概要)		
	第 9 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。		
事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻となりましたのでただいまから第 9 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催します。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、篠原会長からごあいさつをお願いいたします。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。なるべく簡潔に進めていければと思います。オリンピックについても紆余曲折ある中で、開催に至ったということで、オリンピックは特別なのだと思いました。コロナ対策とオリンピックの開催、本日でいえば 1 万人以上の感染者という中で、トップがどのように対策を取っていくかが大切なのだと感じました。行政が行う事業については、どうしても決められたとおりにしかできないと思います。それは今回の地域公共交通も同じであると思います。役所で行うということは多くの方に意見をいただき、議会の承認をいただかないといけないと感じております。今回は多くの意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>		
事務局	<p>それでは各案件の方を進めていきたいと思います。</p>		
会長	<p>3 案件</p> <p>(1) 実証運行について</p> <p>①実証運行の検証と総括について【資料 1】</p> <p>大日本コンサル担当者から説明をお願いします。</p>		
コンサル	<p>「のらぎあ」の検証内容について、別紙資料 1 に基づいて説明。</p>		
会長	<p>それではグループ討議を行ってください。</p>		
委員	<p>資料 1 の 10 ページ目の登録者予測に用いた登録者数は各月の累計数ですか。</p>		
コンサル	<p>そうです。累計値を利用しています。</p>		
委員	<p>エリア拡大時とその前とで詳細な分析と今後の方向性は何か考えているか。</p>		

<p>コンサル</p>	<p>エリアの拡大に対しては、今回の検証で一定程度拡大エリアからの利用も確認できており、エリア拡大の効果はあったと評価をしている。さらなるエリア拡大については、今後のニーズ等を踏まえて検討していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>それではグループ討議と 10 分後に発表をお願いいたします。</p>
<p>各グループ</p>	<p>A グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のらざあを進めていく方向で考えてほしい。 ・ 本格運行に向けて、台数、エリアの絞り込みが必要ではないか。タクシーとの棲み分けも含めて地域公共交通全体を考える必要がある。 <p>B グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のらざあは、今の公共交通の代替の位置づけになると思う。(朝、昼などの時間帯の棲み分けも必要か) 将来的には、補助金の圧縮につながると思う。 ・ 別荘地の人の需要も増えてくると思うのでエリア拡大も必要。 ・ 時刻表がないということは、使いたいときに使えるというメリットである。 ・ アプリによる利用であることから、アプリを使ったサービスとの連動も可能なのでアプリを使った予約は良いと思う。 <p>C グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大したエリアの利用者は高齢者の利用であるかどうかの分析も必要であると思う。 ・ 導入においては、採算性がポイントになると思う。学生は自分のお金ではないため出資者である親への配慮、相乗りという点でプライバシーへの配慮も必要。 ・ 台数は、スモールスタートも必要だが、ニーズが増えることやサービスのことを考えて最初から多い台数で始めるのもあり。 <p>D グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実車率を上げるのはなかなか難しい。 ・ 高齢者はアプリ使用時に行先登録が難しかったようだ。帰りは自宅になるため登録しており簡単にできたそうだ。GPS 機能も付けてはどうか。 ・ 電話予約するのが手間で、家族にアプリで代理予約してもらおうケースや従来通り家族に送迎を頼むこともあった。 ・ 採算という点での 700 円が 500 円アップされると利用に対して抵抗がある。 ・ 乗車時にドライバーと話をした際に、自主運行となった場合は多方向への運転となるためドライバーとしては不安に思うという話を聞いた。 <p>E グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諏訪高生の利用が多かったのだとすると、今後の伸びは難しいのではないか。 ・ 理科大生に使ってもらえるようにするために、運行時間帯を早めてみ

	<p>てはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北山方面の利用も見据えて台数を増やしてもらいたい。 ・相乗りが少なかったということだが、相乗りのPRが必要ではないか。 ・全体意見としては、この交通システムは継続すべきである。 <p>F グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の結果は評価できると思う。 ・一方で、使いたくても使えない人が居たり、まだ認知されていないというところもあったようなので、広報をもう少し取り組んでもよいのではと思う。 ・観光客や別荘地も含めてニーズを把握しても良かったのではないか。 ・期間を長くとり、浸透させるべきであったのではないか。 <p>G グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格運行にはやや消極的で、もう少し実証実験を進めて利用が増えるのかどうか分析を行ってリピーターを増やす工夫が必要ではないか。 ・公共交通としてどこに力点をおくのか、採算か公共性か。料金アップで利用者が下がる可能性がある。 ・高校生の満足度が高いなど、使った人の意見としては、利便性を感じるので採算にとらわれず、展開してほしいという意見もあり、慎重に進めていく必要があるのではないか。
会長	<p>多くのご意見をいただきました。運行については収支面を含めて課題があったことも事実でございます。今回のご意見を今後の準備と協議を進めていくということでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。引き続き協議を進めてまいります。</p>
会長	<p>②実証運行の実施（案）について【資料2】 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>別紙資料②に基づき説明。</p>
会長	<p>事務局からの説明にあったとおり、10月からの運行を進めていきたいと考えておりますのでご意見をお願いいたします。 それでは質疑をお願いいたします。</p>
委員	<p>北八ヶ岳ロープウェイ線については朝と夕方の便がなくなるということか。</p>
事務局	<p>現行の路線は廃止。通勤・通学バスに置き換わるということになる。</p>
委員	<p>土日の運行については行っているのか。</p>

事務局	<p>現行の北八ヶ岳ロープウェイ線については平日の運行のみですので休日は運行いたしません。</p>
各グループ	<p>それではグループ討議を行ってください。</p> <p>A グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北大塩ルートは既存ルートでの移動になるが、中大塩にバス停はあっても良いのではないか。 ・泉野のルートは泉野からサンライフ間の距離が長いので1つくらいバス停があっても良いのでは。 ・実証運行を行い、意見を聞きながら見直しを行っていくことが良いと思う。 ・どういうターゲットや課題があって検証するのかを考えて実施してはどうか。 <p>B グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアみどり線は便も多く、多くの人に利用してもらえている。実証運行時にどの時間帯にたくさん乗ってもらえるのかを確認する必要がある。 ・他の通学支援便を含めて、将来的に6路線で実施できるのではないか。 <p>C グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験でどんどん試してみて、必要・不要を確認すべき。 ・継続することが重要。 ・北山小学校からの利用はどの程度利用されるのか確認することが重要。 ・実証実験を通じて、料金、時間帯を検討すべき。 <p>D グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉野のルートについて、粟沢橋付近は毎朝混雑がひどいため、わざわざそのルートを通らなくても良いのでは。このルートだと諏訪高生は使いやすいが茅野高生が使いにくい。 ・別ルートとの1案として、御柱街道～玉川小～中央病院～スポーツ公園に抜けたほうが混雑はましだと思う。 ・もう1案として、泉野～東部中～コミュニティセンター～中央病院～スポーツ公園とするルートで、バッティングセンターをバス停にすると諏訪高生、茅野高生とも利用しやすくなる。 ・北山、北大塩のルートについては、地域の実状に応じて設定してもらえば良い。 ・北山小への延伸は良いと思う。 <p>E グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をもって実証運行か。渋滞緩和、親の負担軽減等があると思うが、その検証が必要。 ・3路線運行するのであれば、バス停への送迎スペース確保も必要。 ・既存のバス路線をどう変更していくかも重要。 ・実証運行は賛成。やってみるべきだと思う。まずは実証運行を試してみ

	<p>ていいという意見が出されました。</p> <p>F グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が望んでいる良い取り組みだと思う。 ・ダイヤ、バス停、料金は利用者にとって重要な要素なので、地域の意見を反映して取り組んでほしい。 ・リピーターを増やすために定期券を導入してほしい。 <p>G グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリを使って登録してもらい、利用してもらえれば詳細データが取れて分析できるのではと思う。 ・乗っていない人の意見や親の意見を聞くと良い。 ・北八ヶ岳ロープウェイ線は、廃止にせず運行時間調整でや見直しでも良いのではと思います。柔軟な対応が必要になってくると思います。今後の柔軟な対応をしていきたいと思います。
会長	<p>質疑に移ります。ご意見やご質問はありますか。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
会長	<p>通学・通勤バスの協議を続けていくことでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>それでは引き続きよろしく願いいたします。ご協力ありがとうございました。</p>
会長	<p>それでは会の進行を事務局にお戻しいたします。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>本日はありがとうございました。次回の会議でございますが、8月下旬から9月上旬に開催します。通学・通勤バスの実証運行の開始にあたっての運行プランをご協議いただきます。また、AI オンデマンドについて再度ご協議をお願いします。</p>
副会長	<p>5 閉会</p> <p>長時間ご協議いただき誠にありがとうございます。前向きな意見交換ができたと思います。市民の役にたつ公共交通のために今後もよろしく願いいたします。今回の意見を引き続き検討していきたいと考えています。</p>
事務局	<p>以上をもちまして今回の検討会議を終了します。本日はありがとうございました。</p>

以上